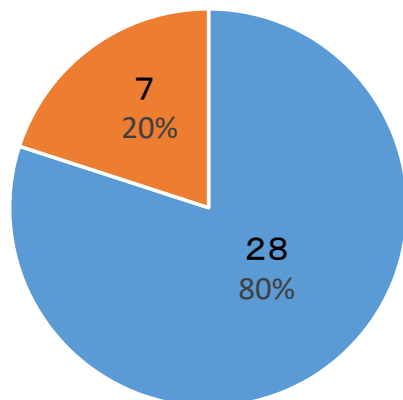


個別避難計画作成の取組みに係るアンケートまとめ

資料4-1

庁内連携の可否

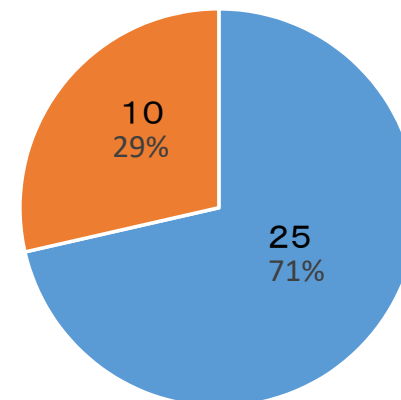


■できている ■できていない

【庁内連携における課題(主な意見)】

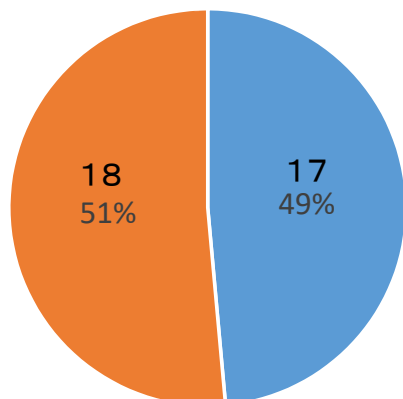
- ・要綱により各課の業務内容を定めているが、各課の認識が薄い。
- ・危機管理担当、福祉部門担当、介護部門担当との横の繋がりが中々取れない。
- ・事業責任の所在の設定
- ・それぞれがそれぞれを頼ってしまって、進捗スピードが遅い。
- ・マンパワー不足
- ・組織全体の業務推進状況の管理(部署をまたぐため)

庁内でのデータ(名簿及び計画)共有



■できている ■できていない

優先度の設定の可否

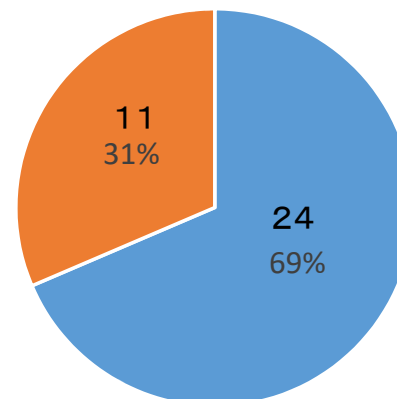


■できている ■できていない

【優先度の設定における課題(主な意見)】

- ・誰もが納得できる優先度になるか不安。
- ・身体の状態だけでなく、地域の実情や、個々が抱える様々な事情も踏まえて設定しないと、作成の協力をいただいている方(特に自主防災会や民生委員等)の納得を得ることが難しいため。
- ・計画策定者(要支援者)の心身の状態等の状況変化により優先順位の変更が起こった際に、その対応への設定を変更することが難しいため。

庁外連携の可否



■できている ■できていない

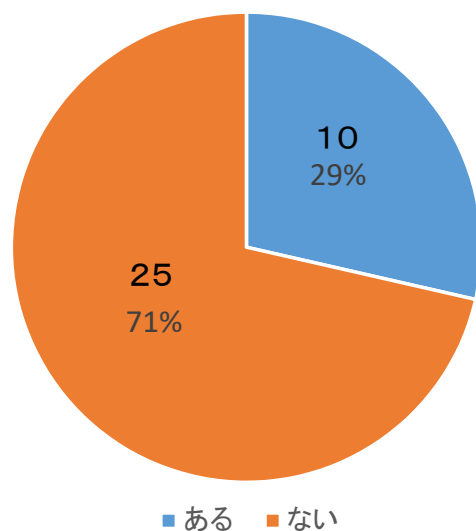
【庁外連携における課題(主な意見)】

- ・自主防災組織等の地域住民の役員の変更が多いこと
- ・計画作成には、時間と労力を要することから、仕事として協力いただく方(自主防災会や民生委員等)ではない方や福祉専門職の方に、どこまでの協力を依頼したらよいか課題となっている。
- ・自主防災組織や民生委員について、その方やその地区によって、対応に温度差がある。
- ・名簿や計画の更新情報について、各組織への情報提供が年1回の頻度であるため、最新情報をどう伝えていくかが課題である。

個別避難計画作成の取組みに係るアンケートまとめ

<支援者の担い手確保（企業・団体との連携）について>

各地区防災訓練における
企業・団体等の参加実績



実績が「ある」の場合、支援者の担い手として、
今後連携可能だと思うか

